

## 事務事業評価事業一覧表(令和4年度決算)

特別会計  
介護保険事業特別会計

事務事業番号	款		項		目	担当部署	事業の評価	ページ
	事業名							
	総務費	総務管理費	一般管理費					
01010107	介護保険業務委託事業					介護福祉課	A	447
	総務費	介護保険事業等運営委員会費	介護保険事業等運営委員会費					
01050108	第9期介護保険事業計画等策定事業					介護福祉課	A	448
	保健福祉事業費	保健福祉事業費	生活支援サービス事業費					
04010209	生活支援サービス事業					介護福祉課	B	449
	基金積立金	介護給付費準備基金積立金	介護給付費準備基金積立金					
07010110	介護給付費準備基金積立金					介護福祉課	A	450

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01総務費

項 01総務管理費

目 01一般管理費

事務事業番号 01010107

事業名		介護保険業務委託事業		担当部署	福祉部 介護福祉課						
根拠法令											
令和4年度決算額		18,485	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他	18,485	千円								
	一般財源		千円								
事業費（総計）		22,782	千円								
決算額		18,485	千円								
人件費		4,297	千円								
総合評価											
<b>A</b>											
事業の目的		介護保険業務の一部を民間事業者へ委託することにより、介護保険業務の円滑かつ効率的な執行体制を構築し、安定的な介護保険事業の運営を図ります。									
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>介護保険業務のうち、介護認定申請や保険給付に関する申請等の受付業務を含む定型業務を、公募型プロポーザルにより選定された民間事業者へ委託します。</p> <p>○主な事業経過                      令和4年10月 公募型プロポーザルの公告                      12月 ヒアリング審査                      受託事業者の選定                      令和5年1月 委託契約の締結                      各種業務の説明その他引継ぎに関する事務を開始                      （令和5年10月 委託業務開始予定）</p>									
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							業務の一部を民間委託することにより、職員が企画・指導業務等に専念できるようになり、安定的な介護保険事業の運営が図られることから、「4」としました。		
効率性		●							申請等の受付業務を民間委託することにより、繁忙時期に応じた人員調整が可能になる等、事務の効率化が図られることから、「4」としました。		
公平性			●						受託事業者の選定にあたっては、公募型プロポーザル方式で実施しており、公平性が担保されていることから、「3」としました。		
将来性		●				高齢者人口の増加に伴う業務量の増加により、申請等の受付業務を含む定型業務を民間委託する必要性が今後も見込まれることから、「4」としました。					
総合評価		<b>A</b>				高齢化の急速な進行に伴い、介護保険の対象者数の増加が見込まれる中で、業務の一部を民間委託することによって、職員が様々な行政課題に効率的に対応でき、安定的な介護保険事業の運営を図ることができると考えています。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01総務費 項 05介護保険事業等運営委員会費 目 01介護保険事業等運営委員会費 事務事業番号 01050108

事業名		第9期介護保険事業計画等策定事業		担当部署	福祉部 介護福祉課						
根拠法令		介護保険法									
令和4年度決算額	2,200	千円	項目評価								
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他	2,200	千円								
	一般財源		千円								
事業費（総計）	6,497	千円	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">総合評価</th> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>					総合評価		A	
総合評価											
A											
決算額	2,200	千円									
人件費	4,297	千円									
事業の目的	介護保険法に基づき3年を1期とする介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画を作成します。										
事業の内容 SDGs17の目標	<p>1 計画策定 公募型プロポーザルにより選定した事業者とともに、計画策定に係る事前調査のため、アンケートの作成、集計等を行いました。</p> <p>2 運営委員会の開催 関係団体や公募委員で構成する介護保険事業等運営委員会を令和4年11月に開催しました。</p>										
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度					
	介護保険事業等運営委員会		回	1	1	3					
項目評価	高 → 低			評価の理由							
	4	3	2					1			
	有効性	●								本市における地域包括ケアシステムの推進を図り、円滑な介護保険事業の運営に向け重要な計画となることから、「4」としました。	
	効率性	●								策定業務の一部を民間事業者へ委託し、効率的な計画策定を進めていることから、「4」としました。	
	公平性		●							委託業者の選定にあたっては、公募型プロポーザル方式で実施しており、公平性が担保されていることから、「3」としました。	
将来性	●				令和6年度からの3年間の介護保険事業及び高齢者保健福祉施策において、重要な計画となることから、「4」としました。						
総合評価	A			本市における課題の抽出・把握に必要となるアンケート調査結果や統計情報を得ることができたものと考えます。令和5年度も引き続き、これらの分析等を進めつつ、計画等策定事業を実施します。							
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 04保健福祉事業費 項 01保健福祉事業費 目 02生活支援サービス事業費 事務事業番号 04010209

事業名		生活支援サービス事業		担当部署	福祉部 介護福祉課				
根拠法令		苫小牧市生活支援サービス事業補助金交付要綱							
令和4年度決算額	1,087	千円	項目評価				総合評価 <b>B</b>		
財源内訳	国道支出金	1,087	千円						
	地方債		千円						
	その他		千円						
	一般財源		千円						
事業費（総計）	2,519	千円							
決算額	1,087	千円							
人件費	1,432	千円							
事業の目的	介護予防・日常生活支援総合事業における住民主体の多様なサービスを実施する各種団体に対して支援を行い、地域包括ケアシステム構築の実現を図ります。								
事業の内容 SDGs17の目標	<p>多様なサービスを実施する団体に対し、事業に要する費用の一部を補助しました。 また、利用者が市民税非課税者である場合、利用者からの申請に基づき利用料の減免を行うとともに、減免した額の一部について補助しました。</p>								
実施結果 (活動指標)	指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度		
	生活支援サービス事業利用件数			件	493	626	733		
項目評価	高 → 低				評価の理由				
	4	3	2	1					
	有効性	●							介護予防・日常生活支援総合事業における多様なサービスとして、住民主体のサービスを安定的かつ継続的に提供しているため、「4」としました。
	効率性		●						事業実施により目的に適った効果が得られていますが、令和4年度は実施件数が減少していることから、「3」としました。
	公平性	●							市内の全域が対象となる事業であるため、「4」としました。
将来性		●			高齢者の増加に伴い利用者数の増加が見込まれ、継続した事業実施が必要となることから、「3」としました。				
総合評価	<b>B</b>				事業に要する費用の一部を補助することで、総合事業における多様なサービスとして、住民主体のサービスを安定的かつ継続的に提供できます。今後も事業継続に努めることにより、地域包括ケアシステムの実現を目指します。				
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07基金積立金

項 01基金積立金

目 01介護給付費準備基金積立金

事務事業番号 07010110

事業名		介護給付費準備基金積立金		担当部署	福祉部 介護福祉課				
根拠法令		苫小牧市介護給付費準備基金条例							
令和4年度決算額	110,096	千円	項目評価						
財源内訳	国道支出金		千円						
	地方債		千円						
	その他	108	千円						
	一般財源	109,988	千円						
事業費（総計）	110,812	千円	<table border="1" style="float: right;"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table>					総合評価	A
総合評価									
A									
決算額	110,096	千円							
人件費	716	千円							
事業の目的	特別会計の剰余金及び運用利息を積み立てし、次年度以降の介護給付に要する費用等の財源に充てることを目的としています。								
事業の内容 SDGs17の目標	<p>令和3年度末基金残高 1,208,698,335円                      令和4年度基金積立金 110,095,825円                      令和4年度基金取崩し額 0円                      令和4年度末基金残高 1,318,794,160円</p>								
実施結果 (活動指標)	指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度		
	基金の年度末残高			千円	1,318,794	1,208,698	862,132		
項目評価	高 → 低				評価の理由				
	4	3	2	1					
	有効性	●				次年度以降の介護給付に要する費用に対する財源として備えるものであるため、「4」としました。			
	効率性	●				次年度以降の介護給付に要する費用に対する財源として備えるものであるため、「4」としました。			
	公平性	●				次年度以降の介護給付に要する費用に対する財源として備えるものであるため、「4」としました。			
将来性	●				次年度以降の介護給付に要する費用に対する財源として備えるものであるため、「4」としました。				
総合評価	A				発生した剰余金及び運用利息を確実に基金に積み立て、次年度以降の介護給付に要する費用の財源とするものです。今後においても、介護保険料や介護給付費とのバランスを図りながら、基金の適正な管理を行います。				
特記事項									